

宇都宮市五代若松原地区

まちづくり通信

令和8年1月号 Vol.54

笑顔いっぱいありがとう



五若の日

8月24日(日)に若松原中学校で『五若の日』を開催しました。とても暑い一日でしたが、たくさんの皆さんにご来場いただき会場は大いに賑わいました。サプライズで“ところてん”と“フランクフルト”を販売！また、若松原中学校の生徒さんたちが様々なブースや宮PASSコーナーでの運営スタッフとして我々と一緒に大活躍してくれました。

新田お囃子会様



ロワイヤル様



宮PASSコーナー



若中の皆さん
ありがとう

2025 五若の日

日時 令和7年8月24日(日曜日)
9:30~12:00
雨天決行

場所 若松原中学校体育館及び周辺

ブース紹介

・お囃子

射的
工作
めんこ
ペーゴマ
おほじき
バルーンアート

交通安全
自転車シュミレーター
健康福祉
健康相談
防災
防災備品展示

持ってきてね!



宮(無料)
かき氷
ポップコーン
ヨーヨー釣り
スーパーボール

有料
(ロワイヤル)の
クッキー
飲み物

五若ふれあいのつどい

穏やかな小春日和の11月30日(日)に、第17回ふれあいのつどいが実施されました。コロナ禍明けからは、イルミネーションの点灯、キャンドルの点火、輪投げ、空き缶つみなどのゲームを取り入れた内容で子供から大人までふれあい広場で大いに交流を深めたことと思います。私は参加できませんでしたが、第1回目で実施した、トン汁や甘酒の提供、子供神輿が町中を練り歩いた光景、いつか復活を望むところであります。今回、イルミネーション点灯式カウントダウンの担当になり、点灯したときは一瞬に明るく素晴らしい景色となり、楽しい思い出になりました。最後になりますが、五代若松原地区の皆さん沢山お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。実行委員長 株本 信一



ご来場の小学生の皆さんと一緒にキャンドルを灯します

今年のキャンドルの図案は『月とロケット』でした
イルミネーションは令和8年1月31日までの点灯で、皆さんから好評を得ました

ゲームをクリアすると賞品がもらえます



宮PASSスタンプラリーの
対象事業でした

各部会の活動の様子

【防犯部】

8月8日(金)に単位自治会、部会、協力団体の皆さまの協力を得て環境点検を実施しました。五代若松原地区を7ブロック(各自治会)に分け、各ブロックに分かれ巡回をいたしました。巡回しながら危険だと思われる箇所を報告していただき情報を共有、改善が必要と思われる箇所については市役所に書面にて報告いたしました。

また、12月10日(水)には年末年始防犯防火診断を行いました。年末における「事件・事故防止」や「火災予防」などを目的に単位自治会長、運動公園交番、警親会、防犯部員で五代若松原地区を南北で2つに分けそれぞれ巡回をいたしました。この際、最近では自転車の盗難が増えている、というお話をいただきました。皆さまも、わずかな時間でも自転車から離れるときは必ず鍵をかけましょう。

防犯部長 阿部 晃



環境点検



年末年始防犯防火診断

【環境部】

9月7日(日)に違反広告物撤去総ぐるみ運動を行いました。今年度は五代3丁目地区で実施し、各自治会長、リサイクル推進委員の皆さまのご協力をいただき、環境部員を含め計21名で活動いたしました。違反広告物は無く、きれいな状態が維持されていました。

また、五代若松原地区にお住いの皆さまにも引き続き家庭ごみのリサイクルのご協力をお願いいたします。『捨てればごみ、分ければ資源』を合言葉にしっかり分別して“ごみ”から“資源”に変えていきましょう。

環境部長 高山 幸江



違反広告物撤去総ぐるみ運動



【社会福祉協議会】

今年も若松原中学校体育館をお借りして自治会長様をはじめとし、民生委員・児童委員、社会福祉協力員、地域の小・中学校、その他の皆様方のご協力により無事に敬老の日祝賀会を行うことができました。

今年の敬老会対象者は1,263名、祝賀会の参加者は170名でした。今年初めて体育館の上履きをスリッパでなく履いてきた靴の上から被せる靴カバーを使ってみました。入り口でカバーをかけそのまま履いてきた靴で中に入れるので良かったようです。

式典の後、アトラクションで『オーヴァ弦楽四重奏団』の演奏、警察官による防犯講話、お楽しみ抽選会等短い時間ではありましたが楽しんでいただけたものと思います。又、今年も若松原中学校の生徒さんが『黄ブナ』の折り紙を対象者全員に折ってくださいました。ありがとうございました。

社会福祉協議会長 安生 文雄



敬老の日祝賀会



オーヴァ弦楽四重奏団様



【体育協会】

10月5日(日)五代小学校にて体育祭を開催いたしました。

天候にも恵まれ、園児からお年寄りまで参加者・応援者共に楽しんでいただけたと思います。

又、例年7自治会で行っていた対抗戦を、今回は北若松原自治会とみどり野町自治会が合同となり、6自治会の対抗戦となりました。

種目としては、久々に“パン喰い?競争”を復活させ、多数参加していただきました。途中、給水タイムをとり、安全に楽しく最後まで行うことができました。

大勢の参加・応援ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。

体育協会長 石嶋 利夫



パン喰い?競争



お玉リレー

【青少年育成協議会】

10月11日(土)、12日(日)に子ども14名、大人8名の参加で国立赤城青少年交流の家でふれあいキャンプを行いました。

初日はあいにくの天気、予定していたハイキングを変更し、近くの大沼湖畔周辺を散策、夕食は野外炊事場でカレーライスを作りました。

2日目は、1～4年生は“スーパー竹とんぼ作り”(竹を火であぶってひねり、角度をつけ、驚くほどよく飛ぶ竹とんぼ)、5・6年生は“あかぎアドベンチャープログラム”(活動を通じ「自分で考えて行動する」ということを学びます)に参加しました。その後、施設内の体育館で“スーパー竹とんぼ”飛ばしを全員で楽しみました。

各自治会の育成部員の方々の協力のもと、雨天の中でも実のあるキャンプができたと思います。皆さんありがとうございました。

青少年育成協議会長 高山 英樹



カレーライス作り



スーパー竹とんぼ作り

【女性防火部】

今年度も五代若松原地域コミュニティセンターにて10月26日(日)にAED講習会を開催いたしました。宇都宮南消防署の職員の方を講師に迎え、心肺蘇生法やAEDの取り扱いについてご講義いただきました。

また、救急車の適正利用についても以下のようにお話しいただき、大変参考になりました。皆さまにもぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

女性防火部長 萱 万希子

宇都宮市内の救急車の台数は、「各消防署(中央3台・東3台・西4台・南3台)の13台、昼間のみ稼働する2台の合計15台しかない。」緊急性が高いと判断したときには迷わず要請していただきたいが、一方で、救急車や救急隊員の数は限られているので、症状の軽い方が安易な要請をすることは望ましくない。



病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 様子を見る?

迷ったら…

#7119(とちまる救急安心電話相談)

※15歳未満は#8000へ

月～金:16時～翌朝10時

開設時間 土日祝:24時間

全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)

AED講習会



【生活文化部】

第13回ふれあい文化祭が11月7日、8日、9日、作品129点を五若地区の皆様の協力で、展示・開催されました。地区の方はもちろん地域外の方の来場もあり、253名の方々に御覧いただきました。

今回は若松原中学校さんへ、作品の出展をお願いしたところ、快く承諾していただき、書2点・絵画2点の出品と、土・日にはボランティアの生徒さんが多数参加等々、文化祭が若返った感じがしました。

はじめてのお抹茶では、緊張した様子でしたが「美味しい」と笑顔で味わっていました。

宇都宮で1番小さい五代若松原地区連合自治会ですが、芸術家は多数いらっしゃいます。

来年の文化祭も御期待ください。

生活文化部長 福田 浩子



オープニングアクト



お手伝いありがとう



若松原中学校生徒さんの作品

連合自治会の活動

【指導者研修会】

11月1日(土)に東京都に行ってきました。当日は晴天で、参加者21名大変実りある時間を過ごすことができました。

『東京消防庁 都民防災教育センター(本所防災館)』
「防災体験ツアー(自然災害コース)」を体験し、日頃の備えやいざという時の対処方法などを学びました。

『靖国神社』

神社へ参拝、境内の散策、遊就館(博物館)の見学をしました。



自治会活動保険について

五代若松原地区のすべての自治会は、自治会活動保険に加入しています
ここでは、どんな時に支払われるのかご説明します

★実際に支払われたケース★

- ・体育祭の大縄跳びでけがをしてしまった
- ・雨で中止となった体育祭の弁当代(キャンセル料)
- ・ふれあい広場のイベントで転んで怪我をした
- ・自治会の会議の帰り道で交通事故に遭遇
- ・イベント終了後の帰り道で転んで怪我

★こんな時に支払われます★

- ・ソフトボール大会で学校のガラスを割ってしまった
- ・お祭りのお神輿でお店の壁やガラスを壊してしまった
- ・イベントで依頼したパフォーマーがアクシデントで怪我(見舞金)
- ・回覧板を届けに行く途中で怪我をした
- ・全市一斉清掃活動中に怪我で入院(通院)した

まずは自治会長に相談してみてください

連合会長のつぶやき

2年前の能登半島地震は元旦のゆったりとした時間が流れているときにいきなり発生した大災害として鮮明に記憶に残っている。東日本大震災以来全国いたるところで地震が発生しているこの状況には、まさに「災害はいつ起こるかわからない」でなく「災害はいつか必ず起こるもの」ということばがいつも頭をよぎってくる。

五代若松原地区では、今年度「安心安全マップ」を作成して間もなく全戸に配布される予定だが、これを一つの契機として、家族で災害時の対応を話し合ったり、備蓄品の状況を確認したりしてもらえれば、このマップも、この作業にかかわったスタッフも少しは報われるのかな～？

CONTENTS

五若の日
第17回五若ふれあいのつどい
各部会の活動の様子
連合自治会の活動
自治会活動保険について
連合会長のつぶやき
編集後記

編集後記

▽自分でも遅筆だとは思いますが、うっかり年をまたいでしまいました。

五代若松原地区まちづくり推進協議会
事務局 (まちづくり通信編集委員会)
福田 勝美 湯澤 久代 小堀 光子
根本 史恵 高野 康子 福田 一郎
櫻井 義久 小林 佳奈